

## 平成21年度事業報告及び収支決算

### 事業報告

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

今年度は当会にとって創立60周年の年に当り、秋の大会を記念大会として実施するとともに、記念行事やホームページなど様々な記念事業を実施し、記念誌の発行を残すのみとなっている。

このほかに例年実施している公益に関する事業は勿論のこと、会員を対象とする各種事業についても、会員のニーズに応じて事業に積極的に取り組み、ほぼ計画どおり実施することができた。

また、事業の効率的な執行に努めた結果、賃貸事業に一部家賃の滞納という事もあったが、単年度収支で若干ではあるが黒字を確保することができた。

各事業の実施状況は、次のとおりである。

## I 会 務

### 1 定期総会、役員会等の開催

(1) 定期総会 平成21年7月1日(水) 上野精養軒にて開催

野村会長の挨拶で始まり、石原慎太郎都知事からはお祝いのメッセージが、比留間敏夫都議会議長からは祝電が寄せられた。

また、小倉基元都議会議長から祝辞が述べられ、粕谷茂元国務大臣からのメッセージが紹介された。

引き続き長寿会員並びに叙勲受章会員それぞれに祝意を表し、記念品の贈呈を行った。

総会は野村会長が議長となり議事を進めた。

会務報告

議案第1号 平成20年度事業報告及び収支決算

議案第2号 平成21年度事業計画(案)及び収支予算(案)

議案第3号 社団法人東京都交友会定款の改正について

議案第4号 任期満了に伴う役員等の選任について

以上の案件について、全員異議なく可決承認された。なお、定款の改正は役員任期を現行の3年から2年に改正するものである。

任期満了に伴う役員等の選任において、代議員・理事・監事が選出さ

れた（内容は別紙のとおり）。総会を中断して新任の理事による理事会が開催され、理事の互選により、会長に野村銀市、副会長に石川金治、藤枝和博、石崎富江、大森國裕、吉岡輝夫、理事長に沼田明、常任理事に安藤貞男、中多泰子、北川文夫、隅田憲平、山下保博の各氏が選出され、退任した花田一憲副会長の相談役への就任が議決された。再開した総会で、新役員を代表して野村銀市会長から就任の挨拶があった。

以上で会議を終了、懇親会に移り、会員の親睦を図った。（参加人員 288 名）

## （2）創立 60 周年記念大会（秋の大会）

平成 21 年 11 月 11 日（水） 上野精養軒にて開催

今年の秋の大会は創立 60 周年記念大会として開催した。

最初に野村会長の挨拶があり、出席された知事代理の菅原秀夫東京都副知事、田中良都議会議長、小倉基都選挙管理委員会委員長より祝辞が述べられた。

周年記念大会の恒例として、相談役の田中平吉前副会長・理事長並びに有竹雅夫前副会長に対し業績功労者表彰を、併せて本年 7 月に副会長を退任した花田一憲相談役に対し役職功労者表彰を行った。

次に、創立 60 年にふさわしい内容の記念講演として、財団法人東京市政調査会理事長 西尾勝氏から「道州制ビジョン：東京圏をどうするか」と題しての講演があり、講演終了後、懇親会に移り会員の親睦を図った。

記念事業として会場内に「昭和の東京」（久保靖夫氏提供）、「写真で見る交友会の 60 年」、写真コンクール入選作品の展示を行った。（参加人員 303 名）

## （3）役員会等の開催

会の重要な案件を審議し、事業の円滑な運営を図るため、役員会等を開催した。

理事会	5 回	常任理事会	1 回	常任役員会	6 回
代議員会	3 回	顧問相談役会	1 回		

なお、平成 21 年 12 月 8 日の常任役員会において、公益法人制度改革の概要を説明し、対応の方向性について確認した。

## 2 会報及び会員名簿の発行

会員相互の交流・親睦に資するため、会員相互の消息、会の事業の運

営状況の報告、会員からの情報提供や投稿を登載した会報を年6回発行し、会員及び関係方面に配布した。

また、会員名簿については、9月1日現在の会員を基本に作成して、会員に配布した。

### 3 会員の慶弔

#### (1) 長寿会員に対する祝賀

喜寿、米寿、白寿を迎えられた会員を定期総会にお招きして記念品を贈り、その労をねぎらい、長寿を祝福した。

白寿 3名、米寿 22名、喜寿 101名 計 126名

なお、平成21年12月末日現在の会員のうち、平成22年中に88歳以上になる会員144名について、平成22年2月号の会報に氏名を掲載し長寿を祝した。

#### (2) 叙勲受章会員に対する祝賀

叙勲受章会員には、定期総会にお招きして、その榮譽を讃えて記念品を贈り、祝意を表した。

平成20年 秋 7名 平成21年 春 4名

#### (3) 物故会員に対する敬弔

物故された会員については、香典等を贈り弔意を表した。なお、会員及び家族の冠婚葬祭については、(株)都民互助会に団体加入し、割安な料金で利用できるよう便宜をはかった。

物故会員 62名

## II 行事及び事業

### 1 施設見学会の実施

会員の見聞を広めるとともに、その健康の増進に資するため、春と秋に施設見学会を実施した。60周年記念事業にふさわしいテーマ・見学先の選定を行った。

春の施設見学会 5月20日(水) 東京の水巡り(羽村取水堰、村山貯水池、平林寺、野火止用水、朝霞浄水場)

60周年記念事業として写真コンクールを行った。

参加人員 56名 (バス 2台)

秋の施設見学会 10月14日(水) 川と海から見る東京(両国、隅田川、岩渕水門、荒川、隅田水門、臨海副都心、浜

離宮)

参加人員 76名 (水辺ラインの観光船 1隻)

## 2 新年賀詞交歓会及び新入会員歓迎会の実施

(1) 新年賀詞交歓会は、平成22年1月8日(金)に、本会会議室において開催し、新年を祝うとともに会員相互の健康を祝して親睦を図った。参加者41名。

(2) 新入会員歓迎会は、平成22年2月2日(火)に、本会会議室において開催。

前年中に新しく入会した会員をお招きし、野村会長の挨拶のあと沼田理事長から事業概要の説明があり、続いて常任役員と親睦を図った。参加新入会員15名

## 3 相談事業の実施

会員及び家族を対象として、毎月、法律相談及び税務相談を実施した。

法律相談 弁護士 坂井 利夫氏 山下一雄氏  
樋口 嘉男氏 (平成21年6月まで)

税務相談 税理士 大西萬里子氏

## 4 その他交友会主催事業の実施

会員の交流と趣味・知識の向上に資するため、次の事業を実施した。

①□ 健康講座 平成22年2月9日(火) 参加者 56名

講師 東京都健康長寿医療センター研究所  
自立促進と介護予防研究チーム 研究部長  
栗田主一先生

テーマ「認知症が予防できる街づくりをめざして」

場所 本会会議室

②パソコン教室

◎初心者コース 平成21年6月16日(火)、17日(水)

参加者 10名

◎初級者コース 平成21年6月23日(火)、24日(水)

参加者 9名

(株)創造マネジメントに委託

場所 本会会議室

③栄養教室 平成21年12月1日(火) 参加人員 26名

講師 前鎌倉女子大教授 佐藤 恵子氏

テーマ 「ぴんぴん長生きのための食事は？」

場 所 本会会議室

④麻雀大会 平成 21 年 7 月 17 日（金） 参加者 20 名

場 所 本会会議室

⑤囲碁大会 平成 21 年 9 月 11 日（金） 参加者 20 名

場 所 本会会議室

平成 22 年 1 月 22 日（金） 参加者 18 名

場 所 本会会議室

⑥ゴルフ大会

◎第 17 回 平成 21 年 6 月 4 日（木） 参加者 36 名

◎第 18 回 平成 21 年 9 月 30 日（水） 参加者 37 名

大宮国際カントリークラブで開催

5 各種趣味の会（同好会、研究会）への支援、活動の場の提供

会員の自主的な趣味の会として、次のようなサークルが活動してい

囲 碁 4～5 グループが毎月利用

短 歌 コスモス短歌会所属の三枝英夫氏の指導により隔月に  
開催

俳 句 3つのグループの会があり、それぞれ毎月開催

謡 曲 観世流、宝生流の 2 グループがそれぞれ毎月開催

小 唄 扇派家元の扇よし和師匠の指導により毎月 2 回開催

麻 雀 3～4 グループが随時利用

その他 複数の研究会があり、それぞれ毎月開催

### Ⅲ 公益事業

1 社会福祉事業等への助成

本会の社団法人であることの公益性に鑑み、公益事業の一環として行っている寄付について、本年度は創立 60 記念事業の一環として例年の倍額を寄付することとし、日本赤十字社に対し、社資を含めて 2 3 万円、東京都共同募金会、東京都社会福祉協議会、東京善意銀行、東京都暴力団追放都民センターに、それぞれ 20 万円を寄付したほか、(財)東京都結核予防会に若干の寄付を行った。

2 講演会の開催及び団体に対する後援

(1) 講演会の開催

平成 21 年 11 月 11 日(水) 上野精養軒

テーマ 「道州制ビジョン：東京圏をどうするか」

講師 財団法人東京市政調査会理事長 西尾勝氏

- (2) 会員の健康の増進に資するため、財団法人東京都弘済会主催の「健康増進旅行」等友好団体の活動に対し後援・協力を行った。

#### IV 交友会会館の維持管理及び事務事業の執行

- 1 会館の施設管理については、テナント入室のための間仕切り工事・室内改修工事・エアコン課金用計器盤改良工事等のほか、建物や設備の老朽化による改修工事など、重点的に整備を行った。公社住宅との一体的管理の必要性から住宅供給公社及び千代田区と協力・連携して施設の安全性・快適性の確保に努めた。

また、当ビルを含む外神田一丁目地区の街づくりのために千代田区が 9 月に設置した検討会に出席して、情報収集に努めた。

- 2 八大都市退職職員団体連絡協議会に参加し、各団体と友好関係を維持し、公益法人改革等の情報交換や協議を行った。なお、大阪市（ゆずり葉厚生会）・北九州市（北州会）が解散・退会したことにより八大都市となった。

開催都市 川崎市

開催日 平成 21 年 10 月 15 日（木）～16 日（金）

- 3 テナントの確保に努め、入室を確保することができた。しかし、一部のテナントで賃貸料の滞納が増大しつつあり、その対応に努めている。
- 4 事務事業の適正合理化を進めるとともに、交友会の事業執行の強化を図った。また、公益法人改革に関する各種講習会に参加し、制度の内容について理解を深め、他団体の動向を把握するよう努めた。
- 5 ホームページの開設等

創立 60 周年事業の一環として、平成 21 年 10 月より東京都交友会ホームページを開設し、併せて古い会報保存のための電子データ化を行った。

## V. 会員の状況

平成 20 年度末 普通会員 2,107 名 特別会員 27 法人

平成 21 年度 新入会員 40 名

退会会員 97 名（うち死亡退会 62 名）

平成 21 年度末 普通会員 2,050 名 特別会員 27 法人

(参考) 年齢別会員数

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢	人数
50		60	15	70	93	80	91	90	16	100	3
51		61	35	71	86	81	85	91	11	101	
52		62	43	72	79	82	90	92	11	102	
53		63	61	73	60	83	76	93	10	103	1
54		64	56	74	75	84	74	94	15	104	
55		65	54	75	93	85	33	95	4	105	
56		66	58	76	89	86	29	96	8	106	1
57	1	67	85	77	80	87	29	97	7		
58		68	70	78	99	88	25	98	4		
59		69	89	79	81	89	22	99	3	計	5
計	1	計	566	計	835	計	554	計	89	合計	2,050

(別紙) 定期総会で選出された役員等

役員

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	野村銀市	副 会 長	石川金治	副 会 長	藤枝和博
副 会 長	石崎富江	副 会 長	大森國裕	副 会 長	吉岡輝夫
理 事 長	沼田 明	常任理事	安藤貞男	常任理事	中多泰子
常任理事	北川文夫	常任理事	隅田憲平	常任理事	山下保博
監 事	小笠原房男	監 事	木下正雄		

理事（上記、正副会長、理事長、常任理事を除く）

青柳玲子	井波良子	江崎信治	柿沼伸二	神戸俊雄	木下一兵
木宮 進	黒田清純	小林由美子	佐々木一彦	笹間 薫	佐藤文雄
鈴木玲子	砂田伸二	茅野祐子	土子 勤	土井道子	野中 泉
長谷部義雄	畑 眞吉	畑野喜邦	古家郁男	水品幸治	矢内満代
山岸隆史	山下一雄	横溝清俊	吉田 正		

代議員

大関東支夫	大谷善四郎	大村昭夫	奥 真理子	歩田勲夫	金木 昇
金子良江	神原宏司	木内征司	杵渕正義	木下宏靖	栗山眞之
小峰良介	坂本正巳	笹本康市	澤井喜八	繁井武代	菅原慶晤
妹尾尚子	高橋 啓	田口和夫	田中 亨	成田 浩	長谷川溪二
林 仁作	樋口正明	深瀬守巨	藤田明子	細渕 功	本田 一
本間定子	増沢一朗	松下吉男	松葉和子	南 靖武	村山益美
森田直俊	八木茂雄	要害武雄	渡辺博美		

## 平成21年度収支決算書

(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(収入)

(単位 円)

科 目			予算現額 (a)	決算額 (b)	差 異 (a-b)
大	中	小 科 目			
		1. 会 費 収 入	9,450,000	8,494,000	956,000
		2. 事 業 収 入	60,000,000	60,396,300	△ 396,300
		3. 寄 付 金 収 入	400,000	402,000	△ 2,000
		4. 雑 収 入	10,680,000	10,002,475	677,525
		5. 積立預金取崩収入	4,000,000	4,000,000	0
		当期収入合計 (A)	84,530,000	83,294,775	1,235,225
		前期繰越収支差額 (B)	20,000,000	41,384,896	△ 21,384,896
		収入合計 (A+B) (C)	104,530,000	124,679,671	△ 20,149,671

(支出)

科 目			予算現額 (a)	決算額 (b)	差 異 (a-b)
大	中	小 科 目			
		1. 事 業 費	58,370,000	46,950,605	11,419,395
		1. 事 業 費	21,250,000	15,827,348	5,422,652
		2. 寄 付 金 支 出	550,000	550,000	0
		3. 会館維持管理費	36,570,000	30,573,257	5,996,743
		2. 管 理 費	25,423,000	22,496,606	2,926,394
		1. 人 件 費	20,031,000	17,798,179	2,232,821
		2. 需 用 費	4,092,000	3,796,324	295,676
		3. 会 議 費	1,300,000	902,103	397,897
		3. 特 定 預 金 支 出	6,100,000	6,100,000	0
		4. 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
		当期支出合計 (D)	90,893,000	75,547,211	15,345,789
		当期収支差額 (A-D)	△ 6,363,000	7,747,564	△ 14,110,564
		次期繰越収支差額(C-D) (E)	13,637,000	49,132,460	△ 35,495,460
		支出合計 (D+E) (F)	104,530,000	124,679,671	△ 20,149,671